

## 水と私たちの暮らし

水は私たちにとって当たり前にあるものだけれど、絶対になくってはならない存在だと思います。

毎日の食事では、お米を炊くの際にも水は必要だし、他の料理や、お茶を作る時にも水を使います。夏は水分ほきゅうも大切なのでいつもよりたくさんお茶や水を飲みます。人間が生きるためには水分は絶対に必要です。それ以外でも水は多くの場面で使われています。たとえば、毎日の生活の中では、朝は顔を洗い、歯をみがき、トイレに行って、手を洗います。お母さんは洗たく機で洗たくをしたり、食事のあとのお皿を洗うのに水を使っています。

家の中でもたくさんのお水を使っていることがわかりました。しかし家の外でも水をたくさん使うこともあります。夏にはプールに水

奈良市立富雄第三中学校

一年

石井 愛桜

をためて遊んだり、車を洗ったり、雨が降らない時は野菜や草花に水をやらなければなりません。

このように、いつもは何も考えずに、たくさんのお水を使っているのですが、自由に水が使えない時もあったことをお母さんに聞きました。

「前にマンションに住んだ時は、定期的に浄化そうのそうじや点検で断水があつて、時間が決まっているからそれまでに洗濯終わらせんといかんから大変やったわ。それに、家におると水が使えんのを忘れて使いそうになるから、断水の時間は外出するようにしとつたよ。」

と教えてくれました。いつもは当たり前のように使えていて、自然災害がなくても、安全に水を使うためには定期的な点検も必要です。

一時的に水が使えない時はお風呂に水をためておいたり、多めにお茶を作っておく、おなべに水を入れておくなどしておくことはできません。でも、自然災害はとつぜん起こるので、ペットボトルでお茶や水を買っておくなどして備えておくことも大切だと思います。

私は毎日手を洗う時に水をたくさん出しています。その様子を見ていたお母さんに、「ちよつと水、出しすぎやない？半分ぐらいでも足りるやろ。」

と言われました。私はすっかりと手を洗いたいので水も多く使っているかもしれない。けれど、自然災害が起こって水道から水が出なくなったら時を考えると、ふだんの生活での水の使い方にも気を付けておいた方がいいのかな、と思いました。

水道のじゃ口をひねれば、かんたんに水は出てきます。水の大切さ忘れないためにも、お風呂に入ったあとの水を洗たくやそうじに使ったり、木や花の水やりに使うなど、毎日の暮らしの中での水の使い方を工夫できることが他にもないか、考えていきたいと思いません。